令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 29-017

PDCA	事務事業名	福祉文化会館管理運営事業	部課等名	教育部 生涯学習課 施設担当	担当	瀧本兼司	
					内線等	23-7331	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 1. 生涯学習 単位施策： (1) 生涯学習の拠点の充実 個別施策： ①生涯学習センター機能の拡充					
	根拠法令等	半田市文化会館条例、半田市立公民館条例、半田市老人福祉センター条例、半田市ひとり					
	対象・目的	福祉、教育及び文化振興の活動拠点として、半田市福祉文化会館（雁宿ホール）を適切に管理運営する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	主な利用団体である福祉登録団体や社会教育関係団体、また14地区公民館との連携を図り、生涯学習活動の活動拠点として適切な管理運営を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①文化会館利用者数	45,867	75,956	69,568	人	
		②中央公民館利用者数	57,673	71,478	62,112	人	
		③福祉センター利用者数	76,606	77,055	22,589	人	
		事業費	90,006	80,164	83,544	千円	
		人件費	27,926	20,431	26,539	千円	
	総事業費	117,932	100,595	110,262	千円		
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①半田市福祉文化会館利用者1人あたりの管理運営	655	448	714	円/人		
	②						
	③						
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
①ホールの稼働率		実績値	44.3	57.5	50.7	%	
		目標値	52.0	52.0	52.0		
②講堂の稼働率		実績値	59.7	61.1	61.1	%	
		目標値	75.0	75.0	75.0		
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない				
	事業の評価・課題	C					
		10月から2月まで大ホール及び講堂の空調設備更新工事のため利用を中止したことにより、文化会館及び中央公民館の利用者数が減少した。施設の老朽化により、今後も施設の大規模な修繕が必要であるが、利用者に不便をかけないように工期短縮等の配慮することが必要である。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 半田市福祉文化会館（雁宿ホール）を文化の発信拠点として、積極的に活用する。このために、利用者が安心・安全・快適に利用できるように施設を整備するとともに、文化芸術の振興のため、半田市として特色のある事業を展開する。				
		令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①ホールの稼働率	60.0	%		
			②講堂の稼働率	75.0	%		